

## 平成20年度第3回公益事業振興補助事業審査・評価委員会 議事要旨

1. 開催日時 平成21年2月10日(火)午後1時00分～3時00分
2. 開催場所 財団法人JKA 7A会議室
3. 出席者(委員) 小松委員長、栃本委員、西貝委員、中尾委員、山岸委員  
(本財団) 久能木理事、池田公益事業振興グループ長、三浦公益振興チーム長、  
岩上福祉振興チーム長ほか
4. 議題 (1) 平成21年度公益事業振興補助事業の採否について  
(2) その他

### 5. 議事要旨

平成21年度公益事業振興補助事業の採否について、事務局からの説明の後、意見交換が行われ、了承された。

○ 主な意見は、以下のとおり。

- ・ JKA補助事業として、社会背景状況を反映した事業(具体的には、裁判制度変更に伴う注目をされている事業である被害者支援事業)が数多く申請されるよう対応方願いたい。
- ・ 補助金の有効活用並びに競輪・オートレースの売上減少を前提に考えると「継続的な事業」に関しては、補助金依存体質から脱却させる計画案を提出させるなど、継続して事業を実施する法人に対して社会貢献事業への真剣な取り組み姿勢を引き出せるのではないか。
- ・ 高齢者生き生きリビングはスタートして5年を経過し、地域的拠点へのモデル的設置の時期は、ほぼ全国的な展開ができたものと思われる。今後は、JKA補助事業メニューの中で唯一の老人福祉関係事業であることを考慮しながら、補助のあり方について再検討すべき時期ではないか。
- ・ 補助事業には、継続安定して実施していくべき「維持型事業」と、事業として自立できるまで応援し、自立できる段階で手を離す「育成型事業」があると考え。そうした区分けを補助事業に対して行うべきではないか。

(本議事要旨は、事務局において作成した。)